



京都 千年の心得「推進協議会 新規観光コンテンツ造成支援事業 採択事業」

国指定重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言の舞台裏！

「面付&所作体験と「土蜘蛛」特別公演」



参加者特典

「嵯峨大念佛狂言」
(小泉順邦@かまがわ選書)

1冊付

「庭茶室ヴァガバアーン」
割引チケット付



感じて

体感されたことを実際に感じながら
特別公演「土蜘蛛」を鑑賞頂けます。

「土蜘蛛」の糸はお金が貯まる」との言い伝えのある縁起物です。是非お持ち帰り下さい。

触って

所作体験では、
貴重な蜘蛛の糸を投げる体験も！
意外に難しい糸を投げる所作。上手く投げるコツをお教え致します。

見て

普段入ることのできない
嵯峨狂言堂舞台内部を見学できます。
大念佛狂言は、歴史的に男性のみで演じられてきましたが、当企画は女性の方も参加可能です。

令和7年(2025年)

2.8土

10:00~13:00

プログラム program

- 特別講義「嵯峨狂言とは」
講師：嵯峨大念佛狂言保存会 事務局長 加納敬二氏 約10分
- 面付・所作体験&舞台見学 約110分
※途中休憩あり。参加者多数の場合二手に班分けをさせていただきます。
- 嵯峨大念佛狂言特別公演「土蜘蛛」鑑賞 約45分
※当コンテンツご参加の方に限り、当プラン専用鑑賞席をご用意させていただきます。



体験後は清涼寺境内、魅力的奥嵯峨エリアの散策をお楽しみください。
体験・公演中、撮影は自由です。迫力ある「土蜘蛛」公演をカメラに収めてください。狂言堂は清涼寺境内のオープンスペースにございますので、一般の方もご覧いただけます。

参加費

お一人様につき
※大人・小人同額

5,000円

税込

参加者定員

30名

申し込み期間

2/6(木)

午前10時まで

最低実施人数10名 10名以下の場合中止になる場合もございます。2日前の2/6(木)にメールにてお知らせ致します。

【開催地】嵯峨狂言堂：清涼寺（嵯峨釈迦堂）

【参加方法】京都観光Navi(ナビ)からご登録
事前クレジットカード決済(当日支払いは出来ません)

登録ページは
こちらからどうぞ

- 2/6(木)9:59まではキャンセル可能です。2/6(木)10:00以降にお客様のご都合により予約をキャンセルされる場合は、参加料金の全額をキャンセル手数料として頂戴いたします。
- 当日は清涼寺(嵯峨釈迦堂)の仁王門前に9:50にご集合となります。
- 嵯峨狂言堂は、窓が解放された空間になります。また、「土蜘蛛」公演は、屋外での鑑賞となります。動きやすく、暖かい服装でお越しください。
- 雨天時は、狂言堂内舞台の袖部から鑑賞していただきます。
- 当日、見学いただく嵯峨狂言堂は、急な階段や危険な場所もございます。また、スロープやエレベーター等はありません。車いすの方などにご不便をお掛けする場合がございますのでご注意ください。



問い合わせ・連絡先 嵯峨大念佛狂言保存会(担当:加納) TEL:080-1414-4864

主催:嵯峨大念佛狂言保存会 共催:京都「千年の心得」推進協議会 後援:公益社団法人京都市観光協会/公益財団法人京都市文化観光資源保護財団

嵯峨大念佛狂言の舞台裏！

一面付&所作体験と「土蜘蛛」特別公演

嵯峨大念佛狂言とは

京都市の西、嵯峨釈迦堂の名で親しまれている古刹・清凉寺の境内で執り行われる民俗芸能です。すべての役者が面を着け、セリフがなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があり、現在は約二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念仏をひろめた円覚上人導御の創始とされています。資料から見ても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄2(1529)年)の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘を持つ女面『深井』や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子の菩提を弔うために奉納された装束など、美術史的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。昭和61(1986)年、国の重要無形民俗文化財に指定されました。

演目は能楽的なカタモンと狂言仕立てのコミカルな要素を持ったヤワラカモンに分けられ、なかでも『釈迦如来』は嵯峨狂言のみの演目して注目されており、また『愛宕詣』は、嵯峨狂言堂舞台から西北にそびえる愛宕山を眺めながら演じる嵯峨狂言ならではの演目となっています。狂言堂のある清凉寺を舞台とした『百萬』も17年振りに披露するなど、若手育成にも力をいれています。

平成27(2015)年の雨漏りが契機となり、各方面に狂言堂修復の相談をしたことが始まりで、文化庁、京都府、京都市の助成を受けながら同年11月に修復工事が開始され、平成30(2018)年9月末に落慶の運びとなりました。最近の活動では、昭和期に録画保存された映像をデジタル化し後世へ残す取り組みを行っています。令和3(2021)年には、傷んだ衣裳や道具の新調事業が実施され、土蜘蛛の衣裳や囃子方の鯉口(カネ)などが新調され装いが新たになりました。



面付け体験

嵯峨大念佛狂言の特徴は、すべての演者が面をつけ身振り手振りで演技する「無言劇」であるところです。演目、役どころによって、様々な面をつけることとなりますが、現在伝えられている面は新面を除いて49面あります。面をつけて演技をすることは慣れていないと大変難しく、面の目や口からはほとんど外は見えないので、稽古での感覚がものをいうこととなります。今回の面付け体験を通して、その視界の狭さなどを感じていただければ、演目を見学する際にはまた違った感想を持ってることと思います。

今回、面付け体験してもらう面はすべて新面です。



所作体験&舞台見学と「土蜘蛛」特別公演

嵯峨大念佛狂言の狂言堂の舞台は、普段は入ることの出来ない特別な場所です。今回はその舞台見学と、狂言方による動きを教えてもらい、実際にやってみる体験をしていただきます。嵯峨大念佛狂言は「無言劇」であることから、その身振り手振りの所作も重要な意味を持っています。演目中の動きにどんな意味があるのかを理解することにより物語が深く知れるというものです。また、今回鑑賞いただきます「土蜘蛛」などの動きがダイナミックな演目では、蜘蛛の巣という糸を放つ演技があります。今回は、この蜘蛛の糸を放つ体験も出来る貴重な機会となります。



清凉寺(嵯峨釈迦堂)

嵯峨釈迦堂として親しまれている浄土宗知恩院派の寺院。仁王門や本堂など堂々とした建造物が境内に並びます。もとは平安貴族の源融の山荘地で、融の死後寺に改め棲霞寺とされました。のちに宋より帰朝した裔然が持ち帰った釈迦如来像を棲霞寺の境内に一字を建てて安置し清凉寺となりました。本尊はインド、中国、日本と三国伝来の釈迦如来像で国宝。霊宝館には源融がモデルという阿弥陀如来像の他、多数の宝物を安置します。

嵯峨狂言堂も、そんな閑静な境内西の一角に建っています。



access

狂言堂は清凉寺境内の西北にあります

〒616-8447 京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町46 TEL:075-861-0343

京都市営バス:28系統・91系統 嵯峨釈迦堂前下車西へ徒歩2分 11系統・93系統 嵯峨小学校前下車西北へ徒歩3分

京都バス:61・62・71・72系統 嵯峨釈迦堂前下車西へ徒歩2分 83系統 嵯峨小学校前下車西北へ徒歩3分

JR:嵯峨野線(山陰本線)嵯峨嵐山駅下車西北へ徒歩15分

京福電鉄:嵐山線嵐山駅下車北へ徒歩15分

